



# 碧南ロータリークラブ週報

第2257回例会 平成17年2月23日(水) 晴. 最高15.1℃. 最低0.9℃

- 会長 池田 弘孝 ● 幹事 黒田 昌司 ● SAA 小笠原良治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 鶴田光久・杉浦昌裕・石川唯司・竹中 誠

ロータリーを  
祝おう

100年の歩み

2004~2005年度  
国際ロータリーのテーマ



## ● 斉 唱

ロータリーソング 「ロータリー賛歌」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子



池田弘孝会長

## 会 長 挨拶

今日は、ロータリークラブ創立100周年の日であります。ちょうど例会の日であり、思いも一人高ぶりを感じるところであります。

新たな100年に踏み出した初日であります。特別な記念事業は行いませんが、今日の卓話の講師は当碧南ロータリークラブが誇りとする山中寛三先生です。

前にもお話を致しましたが、当初トヨタの張社長を講師にお招きして、市内の中学3年生を招待して「国際社会で注目の活躍について」の記念講演を行ってはどうか？と山中先生よりご指導を頂きましたので、早速当会員の山下さんにお願ひし打診をして頂きましたが、超多忙につき引き受けていただけませんでした。大島ガバナーに報告しましたら、最初に大物の講師を候補にした後は、次に願ひする候補が難しいものですよと言われ、肅々と例会をするしかないと思いましたが、本日100周年記念の日が一番相応しい講師が身近に見えたことを感謝申し上げます。

過ぎた100年を振り返り、今からの100年の進むべく道を模索するにつき、みんなで楽しむロータリー活動がしたいものであります。100年をお祝いして、本日の挨拶とさせていただきます。

報告事項を申し上げます。

2月19日に行われました第14回碧南市福祉大会にて愛知県共同募金会長より感謝状を碧南ロータリークラブに戴き伝達されました。

会員の新美託巳さんが病気入院されてから1ヶ月以上になりますので、名古屋大学病院に見舞いに黒田幹事とで行ってまいりました。手術後3日目でしたが、大変お元気でした。この分ですと早期退院が望めそうです。

会員の竹内光博さんより2月20日付けで退会届が出されました。経営者がお代わりになったと言うことですので、理事会に報告する間もありませんでした。いきなりの報告ですが、ご理解を賜りたいと思います。

ポールハリスフェロー認証状の贈呈

県共同募金協会 感謝状



清澤 聡之君



幹事報告

- ・他クラブの例会変更につきましては、お手元の資料でご確認いただきたいと思います。
- ・地区協議会参加の申し込み期限がきています。まだ出欠のご返事がされていないかたは、よろしくお願ひします。出席義務者の方は、5月11日、18日の例会で報告をしていただきますので、よろしくお願ひいたします。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 77 名 (内出席免除者 14 名) 出席者 55 名	
出席対象者 45 / 53 名	出席率 71.43%
欠席者 22 名 (病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 山中 寛三君 今日下手な話を聞いて戴きます。
- 竹中 義雄君 お陰様で平七区町内総会が無事終わることが出来ました。有難うございました。
- 竹内 光博君 このたびは、事業撤退の理由で退会する事になりました。本当に長い間会員の皆様にはいろいろとお世話になりました。心より深く感謝申し上げます。会員皆様方のご健勝を祈念申し上げ、再びお会い出来るのを楽しみに。
- 長田 銑司君 多くの方々との交流の場がありました。
- 清澤 聡之君 ポールハリスフェローで認証を頂きました。
- 早退 4 件 合計 34,000 円

卓 話

「私のロータリーの歴史」

碧南RC会員 山中 寛三君

ロータリーの誕生は1905年で、ハリスはかねてから「実業人は必ず心からの友人になれる」と言う主張をして、職業の違う者が定期的集まろうと言った。ガスターバス・ローアとハイラム・ショーレーとポール・ハリスとシルベスター・シールの4人が集まった。その後、会長や役員も1年毎に持ち回りにしていたので、「ロータリー」と名づけたのです。



1920年に東京RCが誕生しました。2年後の1922年に大阪RCが誕生しました。「ロータリー手続要覧」の決議23-34にロータリーは超私の奉仕の哲学である。1924年に名古屋RCが誕生しました。1927年(昭和2年)に「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」の4つの道が定められた。1932年にシカゴRC会長のハーバートテラー

氏により「四つのテスト」が導入された。昭和14年より10年間、日本のRCは国際ロータリーを脱退したが昭和24年終戦により条件付で国際ロータリーへ復帰をした。昭和26年に地区の分割をして、東日本の38クラブを第60地区に西日本の28クラブを第61地区にする。昭和27年に東京RCが米山奨学基金の構想をする。昭和29年に刈谷RCが誕生した。昭和32年に米山記念奨学委員会が結成されました。昭和34年に愛知県で16番目に碧南RCが誕生しました。会員数は24名でスポンサークラブは刈谷RCでした。チャーター伝達式が9月27日に碧南高等学校の講堂で挙行されましたが、当日は伊勢湾台風により被害甚大で交通機関は止まり、360地区ガバナー山岸勇次郎（浜松RC）と林特別代表が参列して、認証状の伝達式のみ挙行了しました。当日用意してありました弁当は被災者の方々に分配して、早速奉仕の精神を遂行致しました。昭和36年に東京国際RC大会に碧南RCより31名参加しました。昭和39年にボーイスカウト第1団発隊式に助成し、以来今日までボーイスカウトとガールスカウトを応援しています。昭和49年3月に海洋少年団・4月にサッカー少年団が結成され、両団に碧南RCは、後援して今日に至っています。昭和60年にポリオ・プラスが開始されました。国際RC100周年の2005年までに世界からポリオを撲滅する誓約を発表しました。平成4年に一人、5年に二人、6年に一人と続けて、ロータリー財団国際親善奨学生に碧南RCより合格しました。これは、大変すばらしいことです。平成13年11月17～18日に第2760地区大会を碧南RCの主催で開催しました。平成16年に大阪で国際RC大会が5月に開催され、碧南RCより18名参加しました。以上のような内容が私のロータリーの歴史でございます。ご清聴ありがとうございました。

**次回例会案内 平成17年3月9日（水）**

**卓話 「良い会社、伸びる会社の条件」**

**(株)船井総合研究所 チーフコンサルタント 村上 和之氏**